

災害で、もしも自宅が被災したら

災害で自宅などが被害を受けたとき、市から発行する罹災証明書(住宅の被害程度を証明するもの)を取得することで公的支援などを受けられることがあります。罹災証明書の発行を市へ申請すると、現場での被害認定調査が行われ、後日、調査結果に基づき罹災証明書が発行されます。その際、被災状況が分かる写真が必要になります。

重要なのは、片付ける前に写真で被災状況を記録しておくこと!

被災した自宅の片付けや修復作業に取りかかる前に、被害状況を写真に記録することは非常に重要です。写真に記録することで、罹災証明書を取得する際や自身が加入する保険の請求時に役立ちます。

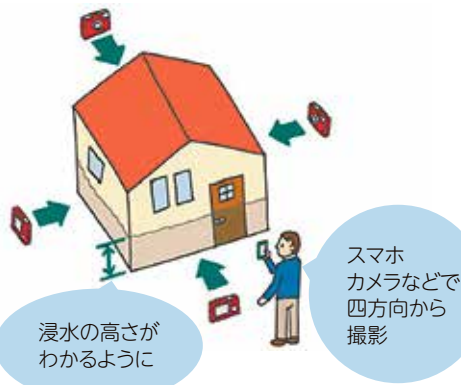
写真撮影のポイント

外側

カメラ・スマホなど、なるべく四方向から撮影し、浸水した場合は浸水の深さが分かるように撮影する。

内側

被災した部屋ごとの全景を撮り、被災した箇所が分かるように、「寄り」でも撮影する。



毎月1回無料で非常食やお菓子、焼いも、かき氷、服などを配布し、おもちや病院さんなどといったほかのボランティア団体にも協力してもらい、遊びながら大人も楽しめる「子どもとみんなのイベント」を開催し、毎回たくさんのかたが遊びに来て

います。子育て応援!!0.1.2.3サークルは、23年間続けているボランティア団体です。毎週木曜日は保健福祉センターひだまり2階で、毎週月曜日と土曜日・日曜日のどちらかの午前中は幸丘にあるごぼファミリーサポートセンター(以下、ファミサポ)で、親子の遊び場を開催しています。参加費は原則無料で、季節の遊びを取り入れて、親子の触れ合いや友だちづくりの場になればと、まるでおばあちゃんの家にいるようなまったりとした空間を提供しています。

108SMILE 市民活動団体紹介

つながり. 19

「子育て応援!! 0.1.2.3 サークル」

108SMILE ホームページ
URL <https://108smile.jimdofree.com/>



市民課人権・市民交流係
☎ 25 1126



ほかに、夏休みなどの長期休暇中には、小・中学生に宿題に取り組み場を提供し、スイカ割りなどのレクリエーションも楽しんでもらっています。また身の回りの物を使った体を動かす楽しい防災教室も好評で、県内の子育て関連の施設など要請があればどこへでも出向いています。このほか、鳥羽市の委託を受け、18歳までのお子さんの託児や送迎をするファミサポ事業と、子ども居場所作りとして放課後にさまざまな体験活動をする市内3校での放課後子ども教室事業も実施しています。これからも、少しでも子育てのお役に立てるように、スタッフ一同、お子さんの笑顔に癒されながらみんなで楽しく活動していきたいと思っています!

総務課防災危機管理室 ☎ 25 1118

一人一人が備えてこ!

防災力UP! 鳥羽

vol.112